



# 2012年度 観光カリスマ講座



会 場：フォルテ・ワジマ(旧 丸正百貨店ビル)4階 イベントホール  
〒640-8033 和歌山県和歌山市本町2-1

定 員：社会人 80名、 観光学部学生 70名

講習料：無料



国立大学法人  
和歌山大学

<http://www.wakayama-u.ac.jp>

[観光学部教務係] TEL 073-457-8542 FAX 073-457-8540



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

## ■主催

国立大学法人  
和歌山大学観光学部

## ■後援

社団法人和歌山県観光連盟  
和島興産株式会社



# 観光カリスマ講座

本講座は、各地で活躍する「観光カリスマ」や成功モデルと評価されている観光地のキーパーソンを招聘します。観光カリスマのユニークな発想やリーダーシップを発揮しての事業の推進やコンセンサスの形成方法等の実践事例を拝聴するなかで、和歌山県の観光振興と地域再生の方向性を探る上で参考となる「生きた交流の場」とすることをめざします。

## 第1回 観光立国の推進について

**10月11日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

観光庁観光地域振興部長 **瀧本 徹**

観光は国の成長戦略の柱の一つであり、人口減少・少子高齢化の閉塞状況を打ち破り、観光需要を取り込み地域経済の活性化・雇用機会の増大等を図る大きな役割を担っている。しかしながら、諸外国との誘致競争の激化、マクロ経済・外交関係等の外的要因による訪日外国人旅行者減少リスクの存在等、様々な課題を抱えている。このような状況を踏まえ、平成24年3月に閣議決定した新たな観光立国推進基本計画に基づき、政府一体となって観光立国をめぐる諸課題に取り組み、強力、かつ、着実に観光立国を推進していくことが不可欠である。特に、現場で成果を上げる観光地域活性化の方策と、学界初め各界との連携の必要性について論じる。

## 第2回 都市と農村の交流拠点「めっけもん広場」が農業を、地域を元気にする

**10月25日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

JA紀の里常務理事 **大原 稔**

紀の川流域の恵まれた大地と自然環境の中で育まれる四季折々の農産物や多種多様な生き物、人々のすべてが地域の大切な財産です。この素晴らしい天・地・人という財産を大都市に近いという地理条件を最大限に発揮し、大勢の消費者の方々にこの地に来てもらうことこそ、農業の6次産業化であり地域の活性化であるとの思いで「めっけもん広場」の取り組みをすすめてきました。食と農のかけ橋であり、都市と農村の交流拠点でありたいと思い続けてきたファーマーズマーケット「めっけもん広場」の活動を紹介します。

## 第3回 移動で世界を元気にする企業 ～世界中の人の移動にバリューイノベーションを起こす～

**11月29日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

WILLER ALLIANCE 株式会社 代表取締役社長 **村瀬 茂高**

旅先での出会い、新たな体験、素晴らしい景色、おいしい食事など。人は移動を通じて元気になる。そして、人が移動することで地域経済も活性化する。移動にイノベーションを起こし、世界中の人を元気にする「移動産業」を起こすことを目指しています。その「移動で世界を元気にする企業」をビジョンとし、バスの新しい価値の提案を行い、利用していなかった人たちをバスに乗せ、移動の新しい市場を創造した取組を紹介します。そして、これからの「移動産業」の創造についての展望を考察します。

## 第4回 しあわせ農泊 ～安心院町グリーンツーリズムの目指すもの～

**12月20日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会会長 **宮田 静一**

「土からものを作っていくだけでは、飯が食えない」「後継者を残せない」「新しい魅力的な農業をしたい」「国の基本を農業にして欲しい」との思いから、1992年より、グリーンツーリズム【GT】に取り組む。安心院の活動は、GTを通して、日本の食糧自給率100%を目指す農村再生の運動。研究会では、GTが生まれたヨーロッパ(ドイツ)へ、毎年、研修へ行っている。また、バカンス法(長期休暇法)の必要性も国に訴えている。現在、当研究会事務局では、5名の職員を配置しているが、継続できる事務局体制も今後の課題。

## 第5回 ホテルエが求められる時代～ホテル業界の現状と課題

**1月31日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

宿屋大学 代表 **近藤 寛和**

日本のホテルサービスは世界一。内外のホテルをよく知る人は、こう口を揃える。しかし、多くのホテルは儲かっていない。それは、ホテルマネジメントが欧米に比べて遅れをとっていることが原因である。日本のホテル企業が、きちんとしたマネジメント力を備えたホテルエ(ホテル経営のプロ)を育成したら、世界に誇れるものになる。ホテルや旅館は観光産業の大きな担い手であり、人々が旅行をし、観光をする際、最も大きな料金を使うのが宿泊施設ではないだろうか。そこで適正利潤を得なければ、日本の観光産業は成り立ちにくい。本講座では、日本人のホスピタリティをビジネスにしていくにはどうしたらいいかを考える。

## 第6回 ネットワークと地域振興

**2月21日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

「21世紀の真庭塾」事務局長 (真庭市バイオマスリファクトリー推進協議会事務局長) **仁枝 章**

高速道路の開通に危機感を覚えた若手経営者を集め、4年間のべ160日、600時間を費やし、各界からの講師を招へいし、勉強を重ねた結果を地域に対して発表。その後、地域資源を活用した環境産業への取組を進めるゼロエミッション部会と、町並み再生部会を設立し、実行部隊として地域づくりに取り組む。この過程で塾員企業によるバイオマス発電、木片コンクリートの開発、木質ペレットの開発などを手掛けた。民間からの出発だったが、次第に行政とも協働するようになり、これらの施設等を紹介する産業観光＝いわゆるバイオマスツアーを仕掛け、今では日本のみならず東南アジアからの視察もある。このような状況になったそのプロセスを話させていただき、そのエスプリをつかんでもらえると幸いです。

## 第7回 パネルディスカッション 地域振興と観光産業

**3月7日(木)** (17:50集合) **18:00～19:30** \*休憩10分を含む **会場／フォルテ・ワジマ4階 イベントホール**

和歌山大学 観光学部長 **山田 良治** 和歌山大学 観光学部副学部長 **藤田 武弘** (コーディネーター) 和歌山大学観光学部副学部長 **廣岡 裕一**

この観光カリスマ講座を締めくくるパネルディスカッションです。今年度の観光カリスマ講座は「食」と「農」との関係から地域再生を研究する藤田副学部長、観光産業とその法政策を研究する廣岡副学部長が担当しましたが、経済学が専門で、その立場から地域・観光・景観を研究する山田学部長と今回それぞれの領域を中心に担当した両副学部長が今年度の観光カリスマ講座を振り返りディスカッションして、総括いたします。